みかんとレモンの島のYショップ
―JA広島ゆたかの店舗活性化策―

主事研究員　福田竜一

1　瀬戸内海に浮かぶ「黄金（こがね）の島」

JA広島ゆたかは瀬戸内海の芸予諸島西部の３つの島（豊島（とよしま）、大崎下島（おおさきしもじま）、大崎上島（おおさきかみじま））を管内とする。最近では安芸灘諸島連絡架橋ルート（愛称「安芸灘とびしま海道」）が開通し、大崎下島まで車で訪れることができる。

大崎下島は児童文学作家の椋鳩十（むくはとじゅう）氏が著した「離島ものがたり」シリーズ第１作の『黄金の島』（1975年刊行）の舞台である。島のかんきつ生産は実に100年以上の歴史を誇り、全盛期時のみかん収穫期には、島を覆うみかんが島を金色に輝かせ、海に照り返した光が波も金色に染めたほどであったという。

島の地形は山がちでたいへん急峻であるが、人々は「耕して天に至る」を合言葉に「ゲシ」と呼ばれる石積みで、みかん畑を山の頂上まで築いた。かつては規模拡大のため「みかん農船」による島外出作（渡り作）も盛んであった。現在もみかん、デコポン生産量は広島県首位、レモン栽培面積は日本最大を誇る。

瀬戸内の温暖な気候がはぐくむコクのある甘みが特徴の「大長（おおちょう）みかん」は全国的に知られる自慢のブランドみかんである。またわが国で初めて動力式かんきつ選果機を導入し、誰しも一度は食べた「みかんの缶詰」発祥の地でもある。恵まれた気候と開拓精神にあふれた人々の知恵と努力が相まって、かんきつの一大産地が島々に築かれてきたのである。

2　JA購買店舗のＹショップ化の取組み

しかし、進む過疎化と高齢化はこの豊かな島にも厳しい現実を突きつけている。JA広島ゆたか八重垣（やえがき）政男組合長は「JAの地域における使命はJAの支所や店舗を維持し、組合員の生活を守ること。」と言い切る。

そのようななかでJA広島ゆたかの購買店舗を山崎製パン株式会社の「ヤマザキショップ（通称「Ｙショップ」）」に転換する案が持ち上がった。Ｙショップはフランチャイズ方式のコンビニエンスストアとは異なり、山崎製パンとの契約によるボランタリー・チェーン（自発的連鎖店）である。つまりＹショップは

JA広島ゆたか山崎支所のＹショップ

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。

同社を共通の仕入先とするが、それぞれは独立した小売事業者である。Ｙショップはコンビニの代名詞ともいえる24時間年中無休営業ではなく、原則として１日14時間以上の営業で、休みも月２回以内で認められている。ロイヤリティーは低額で、売上管理や販売価格、商品構成といった店舗運営も各店舗の運営者にゆだねられるなど、店舗運営者の負担が比較的軽く、自主性や裁量余地の大きい点がＹショップの特徴である。

JA広島ゆたかでは以前からヤマザキパンを仕入れるなどの取引があり、そうした関係のなかで支所のＹショップ化構想が自然と持ち上がったという。山崎製パンが管内各地域の人口や年齢構成など綿密な調査を行い、うち２店のＹショップ化が有望との結論に至った。こうして08年に１号店（JACK大崎店）、翌年には２号店（山崎支所）の開店にこぎつけたのである。

３　Ｙショップ化による効果

上蒲刈島（かみかまがりじま）から橋長約903mの豊島大橋を渡ると豊島の山崎支所のＹショップ（写真）がある。開店から約１年間の営業成績（山崎支所全体の成績）は、総客数が前年同月比を常に上回る等の成果をあげている（第１図）。

第１図　Ｙショップ（山崎支所）営業成績の推移（前年同月比）

資料　JA広島ゆたか内部資料

Ｙショップは普通のコンビニとほぼ同じ雰囲気で、だれでも気軽に入れる。品揃えは食料品や日用品が中心でやはりコンビニと同じだが、JA広島ゆたか販売のお土産向けかんきつ加工品や、通常のコンビニにはまず無い肥料や農薬といった農業生産資材も取り扱っており、同店がJAの購買店舗であることをうかがわせる。

Ｙショップ化に際しては、山崎製パンの接客指導があり、指導を受けたJA職員にも意識改革が進んだ。その成果としてJACK大崎店では、恵方巻（節分の時に食べると縁起が良いとされる太巻き寿司）やクリスマスケーキなど店舗での予約注文商品について、職員がお客様に積極的に声をかけて販促に努めた結果、恵方巻の１店舗当たり売上が広島県内のＹショップで今年第１位となり、全国でも第11位の好成績を収めることができた。それは組合員との距離の近いJAならではの成果でもあろう。

４　JA店舗に新しい可能性を開く

Ｙショップ化の取組みは、JAと大企業との連携が生み出したJAの店舗活性化策の全く新しい提案である。山崎製パンも過疎地域のＹショップ展開を新たなビジネスチャンスとしてとらえており、過疎地域で店舗活性化策に悩む多くのJAにもＹショップ化の取組みが広がることが期待されよう。

JA広島ゆたかがこのような全く新しい試みに先駆的に取り組むことができるのは、多くの困難に対して常に果敢に立ち向かってきた開拓魂を、人々が先人たちからしっかりと受け継いでいるからなのである。

（ふくだ　りゅういち）

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。